



この2年間の若手会員の会活動のまとめとご挨拶

若手会員の会運営委員会 委員長 庄司 博人 (大阪大学)

Acknowledgements of two years activities of WELNET

by SHOJI Hiroto

2020, 2021 年度の2年間にわたって、溶接学会若手会員の会運営委員会の委員長を務めさせていただきました。この2年間、多大なご協力を賜りました幹事委員をはじめとした運営委員の皆様と、本学会の事務局および業務委員会の皆様、溶接・接合に関連する企業の皆様に、深く御礼申し上げます。任期を終えるにあたりまして、本稿を執筆する機会をいただきましたので、この2年間の活動を振り返りながらご挨拶させていただきますと幸いです。

私が委員長に就任した2年前、世界的に新型コロナウイルスへの感染が拡大しました。日本国内においても多くの方が感染し、特に医療体制への大きな負担や、経済的な打撃を受けることとなりました。さらなる感染拡大を防ぐために緊急事態宣言が発令され、外出の自粛が要請されるなど、我々を取り巻く環境は一変してしまいました。大学でも一時は原則学生の登校が禁止とされることも多く、社会的にも大きな混乱が生まれました。

本学会においても、2020年度春季全国大会は中止とせざるを得ない状況となりました。また、その後の2020年度秋季全国大会からはオンライン開催を余儀なくされており、未だに対面での開催を再開できていないという状況です。若手会員の会としても、最大の目的である「若手研究者・技術者同士のネットワーク形成」をすることが難しい状況である中で委員長に就任し、このような状況で何ができるのかと不安な中で活動をスタートいたしました。例年なら、「全国大会での若手イベント」、「研究会・施設見学会」、「勉強会」、「出前講義」、「グローバルネットワーク活動」など、先輩方が築き上げてきた様々な活動を行っていましたが、そのまま例年通りに実行することは難しいものもございました。そこで、全国大会でも取り入れられたように、オンラインを活用し、可能な範囲で交流活動をスタートさせることにいたしました。

「全国大会での若手イベント」としては、春季全国大会のイブニングフォーラムと、秋季全国大会でのポスターセッションを開催させていただいております。これらは全国大会のオンライン開催に伴い、同様にオンラインでの開催を企画いたしました。イブニングフォーラムについては、2020年度は残念ながら春季全国大会の中止に伴って開催できませんでしたが、2021年度は「技術マッチングポスターセッション」というテーマで若手研究者・技術者の活動を紹介する機会を設けさせていただきました。本イブニングフォーラムでは、Remo Conference を用いて、最初に講演者からショートプレゼンテーションを行っていただき、その後に各テーブルで少人数でのディスカッションを行うようにいたしました。オンラインではありませんが、対面でのポスターセッションに近い感触でディスカッションできたのではと思います。一方、ポスターセッションについては、2020年度はオンデマンド方式のショートプレゼンテーション形式で開催させていただき、2021年度はイブニングフォーラムでも用いた Remo Conference により開催させていただきました。全国大会がオンラインとなって以来、一般講演はどれもオンデマンド方式で、質疑・コメントは掲示板で行う形式ですが、本ポスターセッションでは各テーブルでリアルタイムのディスカッションが行われました。講演者のほとんどが学生であり、その場で質疑・応答をする機会がほとんど無い中、本ポスターセッションは良い経験となったのではないのでしょうか。

「研究会・施設見学会」については、毎年3回程度、溶接・接合関連の企業・機関や支部の皆様のご協力のもと開催させていただいております。しかしながら、コロナ禍においては見学会の開催は難しいと判断し、残念ながら開催を見送ることとなりました。研究会・施設見学会では、毎回活発な質疑・応答がなされており、また前委員長の荻野先生が

メーリングリストを改訂してからは初めてお会いする方もおられたことから、若手研究者・技術者のネットワーク形成に対して非常に効果的な活動であったと思います。その点からも、この2年間開催できなかったことは非常に残念です。ただし、研究会のみであればオンラインなら開催可能であるということで、若手研究者の方々に講演をお願いして開催することができました。若手会員の会というのは、言ってしまうとただ若いというだけの集まりですが、その様々な分野の方々がおられるため、全国大会や各研究委員会とはまた違った視点でのディスカッションがなされたものと思います。今後は様々な分野を融合したような研究も行われることもあるかと思いますが、そのためのネットワーク形成にも一役買っているものと思います。

「勉強会」は例年だと研究会・施設見学会に併せて開催しておりましたが、やはりこちらもオンラインでの開催を進めてまいりました。研究会とはまた違った視点でのテーマを設定し、ディスカッションを行いました。2021年度からは、2名の方に話題提供をしていただいて自由にディスカッションしていただき、参加者は質問・コメント等あれば随時参加いただくという形式で実施いたしました。10名前後の参加者で若手らしく自由な交流ができたものと思います。話しているうちに、意外な接点があることがわかったり、どのような考えで研究しているか、どんなことに興味があるか等、参加者同士の相互理解が進められたと思います。研究会や勉強会で講演・話題提供いただいた方々に、深く御礼申

上げます。

基本的に対面で実施することが望ましいような活動はできなかったものの、オンラインでもある程度の交流はできたかなと思います。オンラインにはオンラインなりの良い点もあります。例えば、遠方でも気軽に参加でき、移動時間もかからないので日程調整をしやすい点があります。しかし、やはりオンラインではすでにお互い知っている方との交流はまだしも、初めての方との交流は難しい部分もあり、対面で交流できるようになる日が待ち遠しいところです。運営委員会もオンラインでの開催であり、この2年間で新たに運営委員になられた方とは未だに画面越しにしかお会いできていないのが現状です。残念ながら今春の運営委員会もオンラインとなる見込みであり、私が委員長に就任してからは結局一度も対面での運営委員会を開催することはできませんでした。一刻も早くコロナ禍が落ち着き、皆様と直接お会いできることを祈っております。

委員長として活動させていただいた2年間でしたが、なかなか思うような活動ができず、もどかしい思いもありました。しかし、幹事委員をはじめとした運営委員の皆様にも支えていただいて、何とか任期を終えることができました。改めて、若手会員の会の活動にご支援・ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。今年度からは、また新しい体制で活動を進めてまいりますので、今後も若手会員の会へのご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしく願い申し上げます。